

授業科目名	外書講読Ⅰ・Ⅱ	担当形態	演習		
		開講学期	春・秋		
担当教員	猪狩 裕史	単位	1	年次	3

＝授業のテーマ及び到達目標＝

1. 英語で書かれた音楽療法の文献を読み、内容を的確に読み取り理解する力を養う。
2. 文献を読むことで音楽療法に関する知識を広め、将来的に専門家として、実践や研究に役立てる力を身につける。

＝履修の条件と学習の方法＝

1. 履修学生は、事前に予習をして授業に臨むこと。授業中に日本語訳を言い、内容について話し合えるように準備しておくこと。
2. 遅刻・欠席は減点となる（無断遅刻は1%、無断欠席は2%の減点）。

＝授業の概要＝

これは、日本音楽療法学会で認定する音楽療法士（補）受験資格を取得するために必要な語学科目としてカウントすることが可能な授業である。しかしながら、本学としては語学の単位としては認められないので注意が必要である。

日本語で書かれている音楽療法に関する文献が少ない中、この授業を通して音楽療法について学べるのは貴重な機会であり、特に音楽療法の卒業論文において様々な先行文献調査が必要な3-4年生は、これを履修することが推奨される。

＝授業計画＝

- 1回 シラバスを用いたの授業と課題について説明
- 2回 英語文献検索の仕方について
- 3回 選択論文の内容の説明と検討
- 4回 選択論文の内容の説明と検討
- 5回 選択論文の内容の説明と検討
- 6回 選択論文の内容の説明と検討
- 7回 選択論文の内容の説明と検討
- 8回 選択論文の内容の説明と検討
- 9回 選択論文の内容の説明と検討
- 10回 選択論文の内容の説明と検討
- 11回 選択論文の内容の説明と検討
- 12回 選択論文の内容の説明と検討
- 13回 選択論文の内容の説明と検討
- 14回 指定論文の内容の説明と検討
- 15回 まとめ

＝テキスト（必携）＝

特になし

＝参考書・参考資料（必携）＝

英和辞典、それに代わるものを準備して臨むこと

＝成績評価の方法と評価の基準＝

毎回の学習状況と出席状況 40%、論文課題 60%。無断欠席は 2 %の減点。課題提出の遅れも一日遅れる毎に 1 %の減点となる。これらの点数を合計し、90点以上は S、80～90点未満は A、70～80点未満は B、60～70点未満は C、60点未満は Dとなる。

=その他=